

ぼうさいこくたい2024資料  
令和6年10月19日

## 武雄市における医療的ケア児への災害支援



武雄市こども家庭課

# 令和元年8月佐賀豪雨 武雄市の被害状況

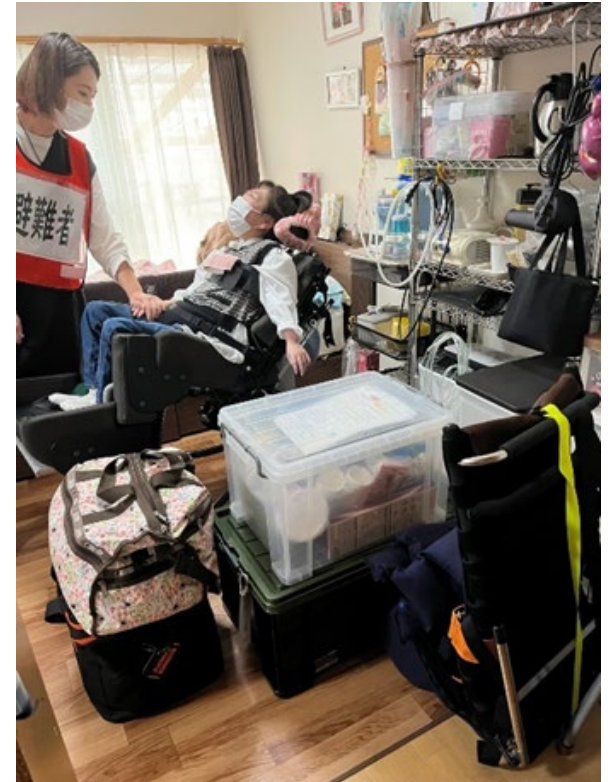


# 計画策定～個別支援会議～

目的：**ご本人宅で行う**ことで、本人の状態や居室の様子、使用する医療機器などを関係者全員で確認・共有。

## 【会議の出席者】

- ・本人、保護者
- ・消防署 救急救命士
- ・居宅介護ヘルパー
- ・県 保健福祉事務所 保健師
- ・県 こども家庭課 小慢児童等自立支援員
- ・市 防災・減災課 係長、防災アドバイザー
- ・市 福祉課 障がい福祉担当
- ・市 こども家庭課 医療的ケア児担当、保健師
- ・訪問看護ステーション 看護師
- ・医療機器メーカー
- ・地区民生委員



# 計画策定～支援会議での確認事項～

①避難先の選定 ➡ 停電しない場所

非常電源のある 公共施設

②災害時対応フローチャート(個別避難計画)

持ち出し品チェックリスト、避難手順書の作成

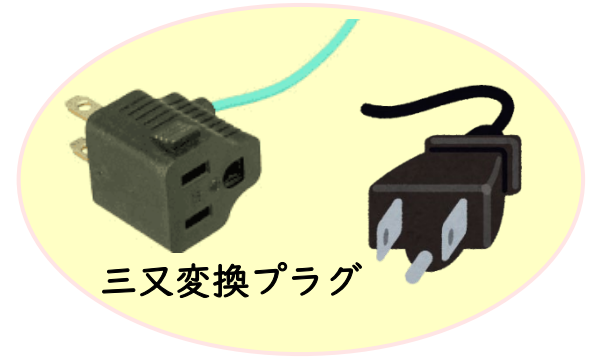
※誰もが一目でわかる簡単なづくり



災害時対応フローチャート、持ち出し品チェックリスト、避難手順書はラミネートし、ベッド脇に常備。

③個別避難訓練の実施 ➡ 避難計画の実効性の確認

# 個別避難訓練で見たこと



- 一人ひとりの状況、家庭環境が違う。
  - ➡ 個々に応じた「**持ち出し品チェックリスト**」の作成。
- **入院とは違い**、避難先にはないものが多い。
  - ➡ 三又変換プラグ、S字フック、高さのある台などの準備。
- 避難所 = 段ボールベッドという思い込み
  - ➡ 体が小さい、または動いた際に落下する危険性の確認。
- 支援者が異動で替わる。保護者も手順を忘れる。
  - ➡ 関係者みんなで「**避難手順書**」の共有・確認・見直し。

**定期的な個別避難訓練は必要！**

# 避難訓練での工夫



本人の物に加え、  
付き添う保護者の  
荷物もたくさん。  
スーツケースなど、  
運びやすいように  
工夫した。



一升瓶コンテナは  
酸素ボンベの移動  
にピッタリ。  
訓練を重ねる中で  
考えられた、  
保護者のアイデア。



自家用車での避難の  
際は、車に積み重ね  
やすいことも大切。  
半透明の衣装ケース  
にしたり、内容を  
書いておくことで、  
中を確認しやすく、  
支援者も運びやすい。  
雨に濡れないので  
安心。



## 【今年度避難訓練出席者】

医療的ケア児 2家族

武雄消防署

訪問看護ステーション

県医療的ケア児支援センター

居宅介護事業所

医療機器メーカー2社

杵藤保健福祉事務所

市役所 防災・減災課、福祉課、こども家庭課

市民課、健康課など 計 28名

